

報道された広大

五月

- # 広大に進学情報室、全国の大学資料ひと目で(読売、5・23)
- # 教官の研究内容も就職情報も端末機で引き出す、広大理学部 学生用に独自システム(読売、中国、5・23)
- # 広島の原爆作家・原民喜の絶筆を原爆文学研究所の広島大学留学生がポロランド語訳(毎日、5・25)
- # 「7」と「5」の数字だけの時計台―広島大工学部75周年記念で除幕(朝日、5・25)
- # 故柳井・広大名誉教授功績たどりあす例会、英学史学会広島支部(読売、5・26)
- # 私の国バングラの素晴らしさ知って、留学生が東広島市民と交流会 来月11日―広島大バンブングラデンシユ留学生チヨウドリイさんら(中国、5・27)
- # ようこそ！ 広島大学、移転完了祝い歓迎会―東広島市長「環境整備に一層努力」と挨拶(中国、5・28)
- # 都市緑化フェアの基本構想を協議―広島で大講学教授ら参加(朝日、5・28)
- # 広島大総合科学部が社会人再教育の一環として公開講座「英語リフレッシュ講座」を開く(中国、5・30)
- # 国有財産中国地方審議会が広大本部跡地など国有地2件の広島市への売却(一部は贈与)を答申(日経、産経、中国、6・1)
- # オゾン反応利用し浄化 東広島の三永水源地―岡田光正大教授と呉市水道局が共同研究、処理能力約二割アップ(中国、6・2)
- # 保育テーマに公開シンポジウム―広島大学大学院教育学研究科幼児学専攻の開設二十周年と教育学部付属幼児教育施設創設三十周年記念行事として―(朝日、6・3)

- # 「幼児保育研究会(広島大学大学院教育学研究科)」が、保育先生たちを対象に研修セミナーひらく(朝日、6・3)
- # 微生物活用し「おいしい水」開発中―呉の水源地で広大工学部(朝日、6・3)
- # いじめ対策、校外の目で―県医師会や広島大学などが「検討特別委員会」を発足(朝日、6・3)
- # 海愛す心は一つ 日韓学生、広島港で交歓―広島大 済州大と「甲板の宴」(中国、6・6)
- # 幼児のむし歯防ごう、磨き方など母親ら学ぶ―広島大歯学部病院で講習会(中国、6・7)
- # 広大「被爆講堂」取り壊し始まる(毎日、朝日、6・7)
- # 工業などの啓蒙家研究、広大三好教授刊行(中国、6・7)
- # いじめ問題検討特別委(委員長―清水凡生広島大教育学部教授 十三人)実態独自調査へ―広島で初会合 発見法づくり検討(中国、6・7)
- # エイズ感染者の笑顔明るく―たくましく生きる米国人、広島大保健管理センター パネル20枚で紹介(中国、6・7)
- # 国際貢献策を考え合う―広島県知事、広島大学長らで「広島国際貢献構想策定委員会」(朝日、中国、6・8)
- # メガカの学校廃校寸前―広島大の学校教育学部生物学科OBが生息調査(毎日、6・10)
- # 初戦突破で2年前の雪辱だ―広大「総理杯大サッカー」出場、組織プレーに進境(中国、6・10)
- # 世界の大学から広大到寄贈「平和の木」に伐採計画、緑化フェア開催のため(毎日、6・10)
- # 歯の健康「特に気をつける」34%―カイテック94年度調査、広島大学歯学部の岩本義史教

編集後記

今号の特集は「基本方針」と「いじめ」。前者は本学の学部教育改革のなごめであり、後者は教育現場が頭を抱える周知の難問である。共通するキーワードは教育。

教育とは何なのか、これは何度再考してもいい問いであろう。この問いを考える糸口になればと二つの特集を企画した。

『フォーラム』の裏話を少々。毎号の特集は、広報委員が頭を絞ってひねり出す。なかなか出ないから各委員の宿題になったが、それでもいいアイデアは集まらない。

試しに、学生に頼んでレポートの隅に特集のアイデアを書いてもらった。若さはアイデアの宝庫だと実感した。広報委員が何人束になってもかなわない。玉石混淆だが、思いもつかぬアイデアの洪水。

そこでお願ひ。どうぞ、学生の皆さんのアイデアを寄せてほしい。何が知りたいか、何を読みたいか。できる限り対処したいと思っている。

もう一つの裏話。『フォーラム』を作っているのは広報委員だけではない。割り付けをはじめとしてニュース集めや写真の手配まで、仕事の多くを本部の広報調査という部署に負っている。『フォーラム』担当の部員は渡辺さんと杉山さん。この二人がいなければ、『フォーラム』はかならず休刊か廃刊になる。

彼らに叱られたり励まされたりしながら、広報委員会は毎号を辛うじて出している。忙しさのあまり、彼らと衝突することもなくはない。でも、今号も休刊にならずにすんだ。これも偏に彼ら二人の指導と寛容のたまものだ。二人に心から感謝。というわけで、次号までしばしサヨナラ。

(第27期広報委員会委員長 越智 貢)

- 授らが監修―(日経産業、6・11)
- # 95年度前田工学賞、広島大学工学部の玉井宏章助手が受賞(日経産業、6・13)
- # 戦争・原爆・平和とヒロシマ半世紀の思い―被害者意識を出発点に、日本人自身が理論武装を―広島大国際放射線情報センター助教授宇吹暁さん(読売、6・13)
- # 家族性の「運動失調難病」半数以上はジョセフ病―広島大医学部(第三内科)の研究で分かる(読売、6・14)
- # 学生の街に芸術の薫り―広島大学校教育学部生が美術展、統合移転記念し新作41点(中国、6・14)
- # 戦争・原爆・平和とヒロシマ半世紀の思い―治療法確立はまだ道半ば、広島を経験 参考情報に過ぎぬ―広島原爆放射能医学研究所長 佐藤幸男さん(読売、6・18)
- # 君は自然科学派それともアウトドア派 頭も体も元気な夏休みを！―来月20日から広島大で4公開講座(中国東広島版、6・18)
- # 広島大 団体結成に届け出・立て看板制限、「準則」復活に学生反発―サークル5団体「一方的に決定」、大学側「生活のルール必要」(中国、6・21)